

令和7年4月1日
三星金属工業株式会社

異形棒鋼製品 SuMPO EPD(旧:エコリーフ)を取得

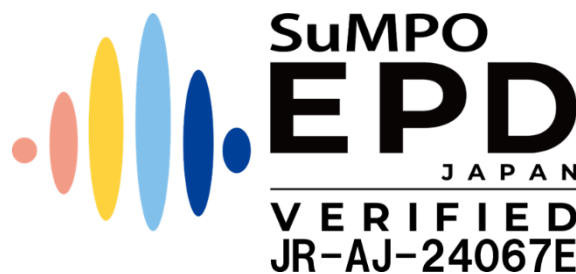
三星金属工業株式会社は、自社にて製造する異形棒鋼製品について、一般社団法人サステナブル経営推進機構(SuMPO)の「SuMPO 環境ラベルプログラム」に基づく「SuMPO EPD^{※1}(旧:エコリーフ)」を3月5日に取得しました。尚、本EPDはSuMPO 環境ラベルプログラムウェブサイトにて公開されています。

(SuMPO EPD ページ - <https://ecoleaf-label.jp/epd/2106>)

SuMPO EPDとは、LCA(ライフサイクルアセスメント)手法を用いて、原料調達から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルにわたるライフサイクル全体を踏まえた定量的な環境情報を開示する、タイプⅢ環境製品宣言:EPDの一つです。第三者検証によって透明性が確保されたデータを一般開示することで、お客様が使用する製品の環境負荷を定量的に評価し、環境に配慮した製品を選択する上での判断材料とすることが可能となります。

今回 SuMPO EPD を取得した当社の異形棒鋼製品は、再生資源である鉄スクラップを主原料とした電気炉製鋼法で製造される環境にやさしい素材です。当社は SuMPO EPD を取得・公開したことで、客観的で透明性の高い環境情報を提示することが可能となりました。

三星金属工業株式会社は、今後も環境に配慮した製品の製造を通して、引き続き持続可能な社会の構築へ貢献して参ります。



※1: SuMPO 環境ラベルプログラム SuMPO EPD(旧名称:エコリーフ)

国際規格 ISO 14025 に準拠した「タイプⅢ環境宣言」で、いわゆる EPD (Environmental Product Declaration) の1つ。EPD は、宣言された製品の資源採取から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルに至るまでの定量的な環境情報を示しており、SuMPO EPD は(一社)サステナブル経営推進機構が管理運営しています。(2024年6月に「エコリーフ」から「SuMPO EPD」へ名称変更)